



株式会社ウイルテック

東京証券取引所市場第2部

証券コード：7087

2022年3月期第3四半期

# 決算説明資料

2022年2月10日

# ディスクレームー

- **資料内の業績数値について**

当資料に記載する数値は、以下を前提にご覧ください。

監査法人により監査済	2020年3月期 2Q・3Q・4Q 2021年3月期 1Q・2Q・3Q・4Q 2022年3月期 1Q・2Q・3Q
未監査	2020年3月期 1Q

- **数値に関する注意事項**

当資料については、特段の注記がない限り数字については表示単位未満切捨て、比率、年数及び倍率等については表示単位未満四捨五入して表示しています。

- **見通しに関する注意事項**

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

## ウイルテック・グループの主要4事業

(2022年3月期第3四半期)



### EMS事業

- 電子機器の受託製造
- 電子部品卸売



### ITサポート事業

- ITエンジニア派遣：SE・PG・IT基盤/運用等
- 請負開発：社内開発

その他



### マニファクチャリング サポート事業

- 製造請負・製造派遣
- 機電系技術者派遣
- 修理サービス



### コンストラクション サポート事業

- 建設系技術者派遣
- 建設に関する教育・研修サービス



2022年3月期  
第3四半期  
決算概要

5



2022年3月期  
業績予想

14




トピック

20



APPENDIX

22

A horizontal bar with a blue segment on the left and a green segment on the right.

# 2022年3月期第3四半期 決算概要

# 2022年3月期第3四半期決算概要

- アフターコロナを見越した需要回復や昨年度M&Aした2社のグループ化により、過去最高売上を更新
- 内定済み海外人材（約150名）が渡航制限措置による入国遅延が発生し、需要に応じるために国内採用投資を強化したことで粗利率が低下

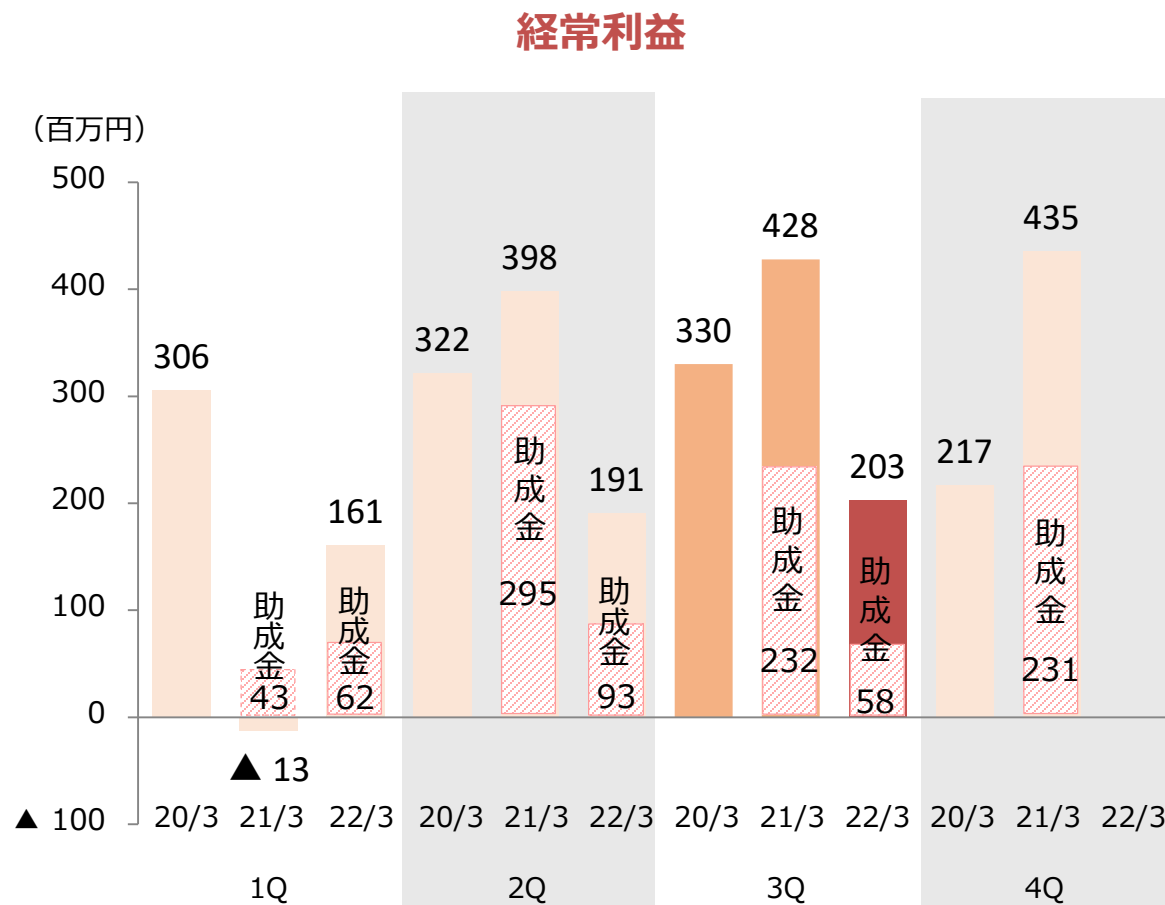
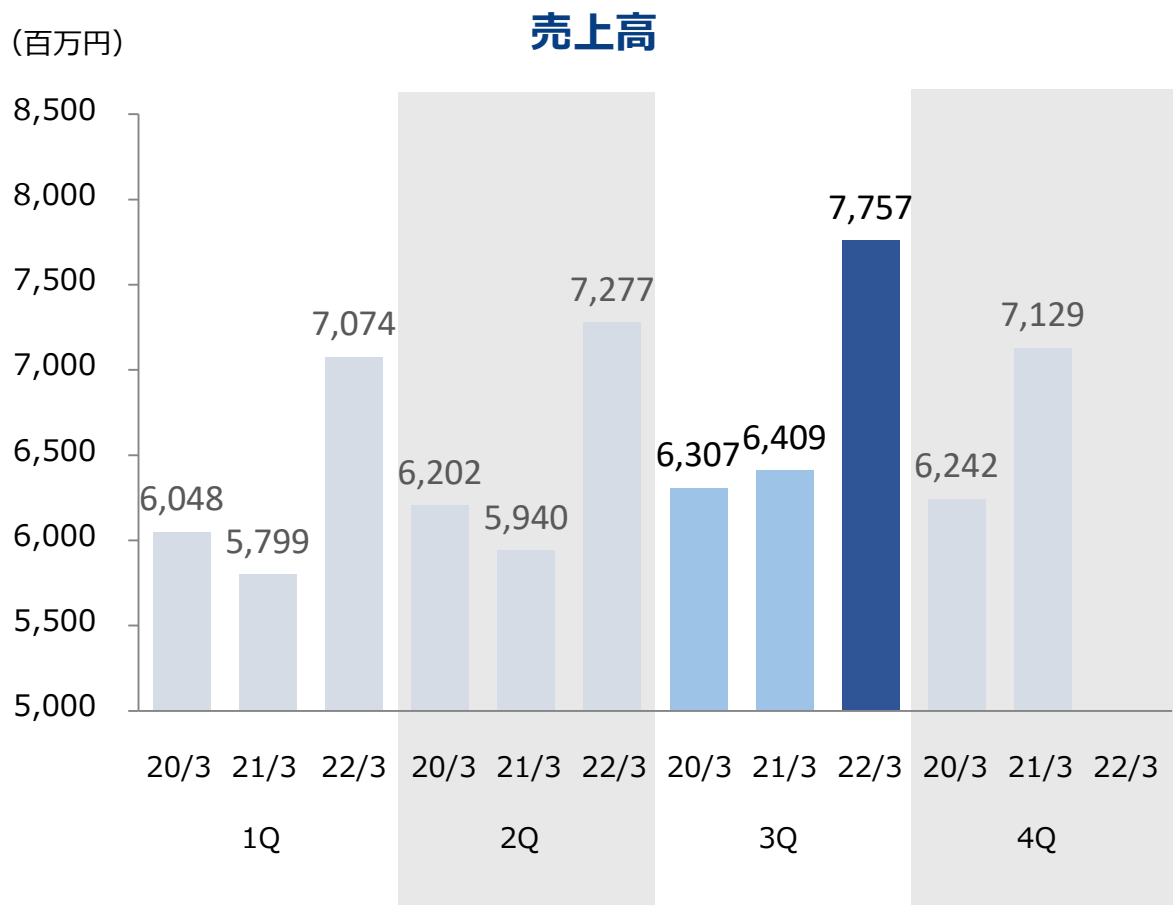
(百万円)	2021/3期 第3四半期 実績	2022/3期 第3四半期 実績	前年比	
			増減額	増減率
売上高	18,148	22,108	3,960	21.8%
営業利益 (営業利益率)	235 (1.3%)	337 (1.5%)	102 (0.2p)	43.5%
経常利益 (経常利益率)	811 (4.5%)	555 (2.5%)	▲256 (▲2.0p)	▲31.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (四半期純利益率)	469 (2.6%)	296 (1.3%)	▲173 (▲1.3p)	▲36.7%
一株当たり四半期純利益 (円)	75.66	47.56	▲28.10	—

(注) 2021年3月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

# 2022年3月期業績推移（四半期単位）

**【売上高】** 3Q期間において、ITサポート事業が前期比199.1%増、EMS事業が前期比53.7%増と牽引

**【経常利益】** 海外人材の渡航制限などの原因により、引き続き採用コストが増加



# 営業利益増減要因分析

## 増収影響

- 特に製造業においてアフターコロナを見越した需要が拡大
- 一昨年12月立ち上がりのITサポート事業の売上が寄与

## 粗利益率変化

- 海外人材の渡航制限等による国内採用コストの上昇もあり、マニファクチャリングサポート事業の粗利率が1.6ポイント悪化

## 販管費増加影響

- 昨年度のM&Aによる増加▲216百万円
- のれん▲40百万円

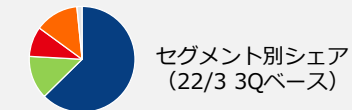


セグメント	増収影響	粗利率変化
マニファクチャリングサポート事業	+166	▲221
コンストラクションサポート事業	+35	+5
ITサポート事業	+258	+15
EMS事業	+85	+16
その他	+10	+45

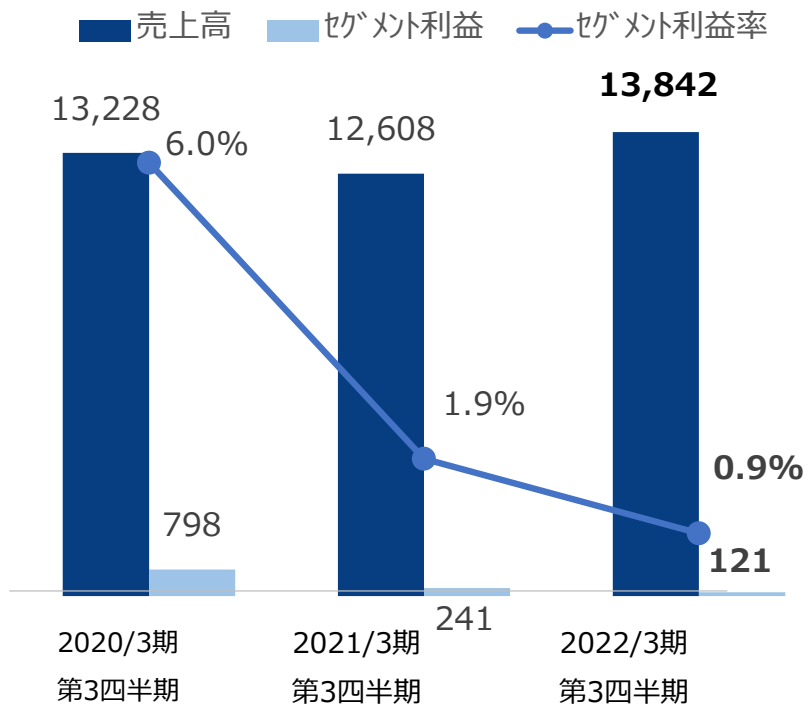
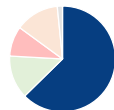


# セグメント別業績推移

(単位：百万円)

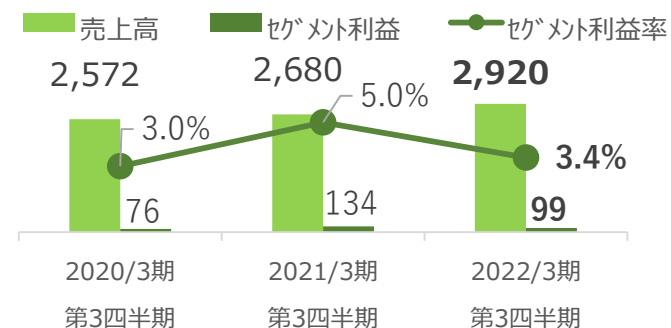
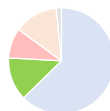


## マニュファクチャリングサポート事業



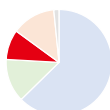
- 経済回復により需要は堅調に推移。一方で一時的な海外渡航制限によって発生した採用コストにより利益率が低下

## コンストラクションサポート事業



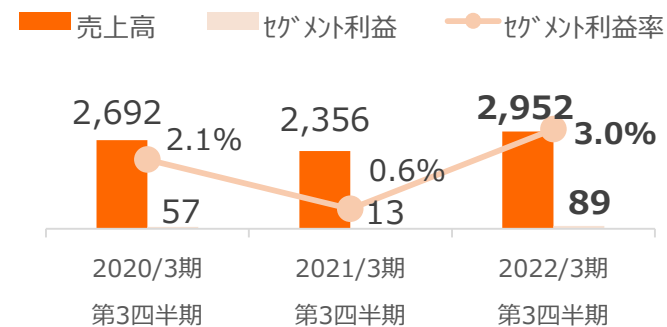
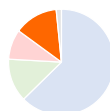
- 首都圏を中心に東京オリンピックで中断していたプロジェクトが再開。待機者配属に注力したことで原価率が徐々に改善

## ITサポート事業



- 新規プロジェクトの開始など人材需要は好調
- 需要に対応するため採用力強化に注力

## EMS事業



- 経済再開を見越した設備投資と部品不足を懸念した先行発注などにより需要は旺盛。利益率も向上

# セグメント別業績 マニファクチャリングサポート事業

- アフターコロナに向けたDX化の拡大を背景に、情報通信系の需要が旺盛。新規ラインの受注も好調
- 各産業とも生産好調が継続するも、半導体不足による生産計画の見直しの兆し

(百万円) (括弧内：構成比)	2021/3期 第3四半期	2022/3期 第3四半期	前期比	
			増減額	増減率
電子部品・デバイス・ 電子回路製造業	2,985 (23.7%)	2,859 (20.7%)	▲126	▲4.2%
情報通信機械器具 製造業	3,415 (27.1%)	4,339 (31.3%)	+924	+27.1%
電気機械器具製造業	1,925 (15.3%)	2,091 (15.1%)	+166	+8.6%
その他	4,282 (34.0%)	4,552 (32.9%)	+270	+6.3%
合計	12,608 (100%)	13,842 (100%)	1,234	+9.8%

## 電子部品・デバイス・ 電子回路製造業

前期比 ▲4.2%



一部大口顧客の生産体制の見直しが影響して減収。  
一方でその他取引先については、各社とも好調で繁忙。

## 情報通信機械器具製造業

前期比 +27.1%



5G関連を中心に旺盛な需要で好調を維持。半導体不足  
に懸念材料

## 電気機械器具 製造業

前期比 +8.6%



巣ごもり需要が続くなかで、住宅関連製品の需要が好  
調

# セグメント別業績 コンストラクションサポート事業

- 需要は回復傾向。稼働率向上により待機ロスが減少し、原価率が改善
- 引き続き激化する人材採用競争への対応が最重要課題

(百万円) (括弧内：構成比)	2021/3期 第3四半期	2022/3期 第3四半期	前期比	
			増減額	増減率
人財サービス事業	2,645 (98.7%)	2,800 (95.9%)	+155	+5.9%
(内建築分野)	1,013 (37.8%)	939 (32.2%)	▲74	▲7.3%
(内建築設備分野)	1,263 (47.1%)	1,463 (50.1%)	+200	+15.8%
(内その他分野)	369 (13.8%)	398 (13.6%)	+29	+7.9%
請負・受託事業	35 (1.3%)	120 (4.1%)	+85	+242.9%
合計	2,680 (100%)	2,920 (100%)	+240	+9.0%

## 建築分野

前期比 ▲7.3%



海外人材の入国遅れなどにより施工管理の採用不足が売上に影響。建築人材の需要は回復傾向にあり、国内人材の採用を強化

## 建築設備分野

前期比 +15.8%



当社が注力する建築設備分野において人材の採用と教育が順調に推移したことにより増加。特にターゲットサブコンへの増員により売上が伸長

## 請負・受託事業

前期比 +242.9%



大型商業施設のリニューアル工事が比較的順調に進捗し、出来高による売上を計上

# セグメント別業績 ITサポート事業（2020年12月より新設）

- アフターコロナに向け新規プロジェクトの開始など、長期的な需要拡大が見込まれる
- グループ内連携を深め、人材および案件の共有化を推進

(百万円) (括弧内：構成比)	2022/3期 第3四半期
システム開発 【アプリケーション】	1,626 (80.3%)
(内WEB系)	808 (39.9%)
(内オープン系)	365 (18.0%)
(内汎用系)	139 (6.9%)
(内ERP)	314 (15.5%)
その他	398 (19.7%)
合計	2,024 (100%)

## システム開発

コロナ影響が一段落し、プロジェクトの開始が順調に進む。一方で、採用活動が激化するなか、即戦力人材の採用に課題

## その他

ITシステムのサポートサービスは底堅い需要。経験の浅い人材の受け入れを増やす一方、テレワーク就業の希望者増加を背景に働き方のニーズ変化への対応にも注力

# セグメント別業績 EMS事業

- 部品不足のなか調達強化に注力したことで、売上高は過去最高水準を維持
- 引き続き先行注文による受注残が増加。部品調達網の拡充に注力し、確実に売り上げにつなげる

(百万円) (括弧内：構成比)	2021/3期 第3四半期	2022/3期 第3四半期	前期比	
			増減額	増減率
デバイス	1,209 (51.3%)	1,634 (55.4%)	425	35.2%
ユニット	1,147 (48.7%)	1,318 (44.6%)	171	14.9%
合計	2,356 (100%)	2,952 (100%)	596	25.3%

## デバイス

前期比 35.2%



医療機器および半導体製造装置が好調を維持。また、国内物流倉庫向け設備投資案件が増加。商品別では半導体リレーや各種センサの販売が引き続き好調

## ユニット

前期比 14.9%



半導体製造装置関連や工作機械も引き続き増産傾向にあり、海外市場の回復も徐々に見え始める。マンションの新築着工が横ばいのなか、宅配ロッカーの入替え需要が増加



# 2022年3月期 業績予想

# 当社グループ需要見通し

マニファクチャリング  
サポート事業

	業界	需要見通し (3Q末時点)	人材ニーズ・事業機会
製造請負・ 製造派遣事業	電子部品・デバイス ・電子回路		引き続き5GスマートフォンやEV車の普及、コロナ禍に伴う巣ごもり需要により市場は拡大傾向も、半導体等の材料不足により生産調整の懸念
	情報通信		5G/6G関連、IoT、DXに期待も、半導体やその他の部材、人材の不足が続き不安定な生産状況
	電気機械器具		巣ごもり需要、IoT・AI・省エネ関連商品は引き続き期待も、半導体やその他の部材、人材の不足が続き不安定な生産状況
機電系技術者 派遣事業	IT		DX関連のシステム構築など大幅増員傾向。システム、アプリ開発、インフラ構築、クラウド関連の需要が拡大
	自動車		半導体やその他部材の不足による生産計画の見直しの影響で、引き続き開発部門を中心に予算、外部人材の抑制が顕著。EV 関連、自動運転関連は増加見込み
	半導体		生産現場はフル稼働。装置メーカーを中心にエンジニア需要が増加。今後の設備投資拡大を見据え、半導体関連メーカー各社は人材投資を加速。5G、データセンター向けなどの需要は今後も堅調な伸び
修理サービス 事業	業務用機器・設備		業務用機器は販売数量が鈍化し、修理案件の安定確保が難しい状況。加えて、社員SEの稼働率低下により労務費が固定化され原価が高騰
	太陽光発電		引き続き太陽光発電システム、蓄電池システムは好調。外注企業とのパートナー契約の推進により、キャパシティ向上と需要変動にあわせた柔軟な稼働対応による収益性向上に期待
自動化設備	ロボット保守		製造現場のFA化推進により、企業のロボット導入構想は具体化へ。

# 当社グループ°需要見通し

	業界	需要見通し (3Q末時点)	人材ニーズ・事業機会
コンストラクション サポート事業	建築	↗	業界全体で人材ニーズの回復が顕著。増員需要に対応するために採用強化に注力
	建築設備	↗	
	請負・受託事業	↗	
ITサポート事業	システム開発	↗	需要は製造業などで改善傾向が続く。サービス業もプラスに転換
	その他	↗	開発のみならず、保守案件も人材補強ニーズが底堅い。クラウド系の保守案件に対応できる人材確保は依然厳しい
EMS事業	工作機械、 物流設備関連	↗	引き続き、EV車の生産拡大を背景にした工作機械や物流倉庫向け設備が好調。ただ、いずれも材料調達が困難で、従来以上に供給がタイト化する可能性
	半導体製造装置 関連	→	需要は好調も、半導体や電子部材全般の不足による受注残の増加傾向は変わらず
	医療機器関連	↗	コロナ禍が長期化する中、受注はFA商材を中心に一段と増加傾向。医用関連の分析装置は増産計画あり。一方、半導体を中心とした材料入手困難な状況は続き、供給は従来以上にタイトになる見込み



# ご参考：2022年3月期業績推移と予想（従来計画）

(百万円)	2021/3期 3Q実績	2022/3期 3Q実績	前年比	2021/3期 通期実績	2022/3期 計画 (従来計画)	前年比
	売上高	18,148	<b>22,108</b>	21.8%	25,277	<b>31,189</b>
営業利益	235	<b>337</b>	43.5%	440	<b>1,191</b>	170.8%
経常利益	811	<b>555</b>	▲31.6%	1,248	<b>1,242</b>	▲0.4%
親会社株主に帰属する 四半期・当期純利益	469	<b>296</b>	▲36.7%	780	<b>774</b>	▲0.8%
一株当たり四半期・ 当期純利益（円）	75.66	<b>47.56</b>	—	125.56	<b>123.43</b>	▲2.13

# 2022年3月期業績推移と予想（計画修正後）

- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、生産活動の不安定化や採用コストの大幅な上昇の影響等を踏まえ、連結業績予想を下方修正。期末配当は当初発表した通り、1株当たり28円を維持

(百万円)	2021/3期 3Q実績	2022/3期 3Q実績	前年比	2021/3期 通期実績	2022/3期 計画 (2022/02/09発表)	前年比	進捗率 (3Q/通期計画)
売上高	18,148	<b>22,108</b>	21.8%	25,277	<b>29,888</b>	18.2%	74.0%
営業利益	235	<b>337</b>	43.5%	440	<b>446</b>	1.4%	75.6%
経常利益	811	<b>555</b>	▲31.6%	1,248	<b>703</b>	▲43.7%	78.9%
親会社株主に帰属する 四半期・当期純利益	469	<b>296</b>	▲36.7%	780	<b>406</b>	▲48.0%	72.9%
一株当たり四半期・ 当期純利益（円）	75.66	<b>47.56</b>	—	125.56	<b>65.07</b>	▲60.49	—

# 利益改善に向けた各事業の取り組みについて

## 製造請負・製造派遣事業

- 顧客への継続的な単価アップ交渉
- 東北・熊本・東海エリアの新規開拓強化

## マニファクチャリング サポート事業

### 機電系技術者派遣事業

- 高単価が見込める経験者採用の強化
- 経験を積んだ人材を高収益案件へ配属転換
- 経験者と未経験者のセット配属による待機ロスの低減

### 修理サービス事業

- 外部パートナーの開拓により、固定費であった人件費を売上に比例した変動費への転換を推進
- エネルギー関連（太陽光発電・蓄電池）を戦略的に推進し、人材リソースの効率化を進める

## コンストラクションサポート事業

- 在日海外人材の採用を強化
- 新規事業（プラント・教育・ドローン・受託）の中で「選択と集中」による事業の効率化を推進
- 独自の適正原価率のガイドライン運用を遵守することで原価管理を徹底

## ITサポート事業

- 顧客への単価アップ交渉や高収益案件へ配属転換
- 高粗利領域「ERP分野」のリスキル教育の強化

## EMS事業

- 原材料の高騰に対する販売価格の見直し交渉を推進
- 顧客からの注文を再整理し、適正な在庫調整を推進

A horizontal bar with a blue segment on the left and a green segment on the right.

# トピック

# コミットメントライン契約の締結

- 1月17日開催の取締役会において、今後の積極的な事業展開における資金需要に対し、機動的かつ安定的な資金調達枠を確保することを目的として、コミットメントライン契約を締結することを決議

## 契約の概要

契約締結先	株式会社三井住友銀行
借入極度額	20億円
契約締結日	2022年2月14日（予定）
契約期間	2022年2月14日～2023年2月13日（予定）
担保の有無	無担保・無保証

A horizontal bar with a blue segment on the left and a green segment on the right.

# APPENDIX

## 押し寄せる変革の波。 お客様の感動を一步前へ。

ビジネス、テクノロジー、価値観。

現在、私たちの目の前では、

これまで経験したことがないスピードで、

想像以上に大きな変化が起こっています。

私たちは、他に先駆けて自らが変わること、

イノベーションを起こす集団でありたい。

千変万化。

ウイルテックグループの経営方針です。

代表取締役社長  
宮城 力



# 会社概要

社名	株式会社ウイルテック（英文表記：WILLTEC Co.,Ltd.）			
代表者	代表取締役社長 宮城 力			
設立年月日	1992年(平成4年) 4月			
本社所在地	〒532-0002 大阪府大阪市淀川区東三国4丁目3番1号			
資本金	136,830,000円（2021年12月末時点）			
役員構成	取締役会長 代表取締役社長 常務取締役 取締役 取締役	小倉 秀司 宮城 力 野地 恭雄 西 隆弘 渡邊 剛	取締役 取締役（監査等委員） 社外取締役（監査等委員） 社外取締役（監査等委員）	石井 秀暁 京崎 利彦 麻田 祐司 見宮 大介
事業内容	製造請負/製造派遣/技術者派遣/受託製造/電子部品卸売/修理サービス/海外人材育成など			
売上規模	25,277百万円（連結／2021年3月期）			
従業員数	5,265名（連結／2021年3月末時点） ※平均臨時雇用者含む			
グループ会社	株式会社ワット・コンサルティング デバイス販売テクノ株式会社 株式会社ウイルハーツ WILLTEC VIETNAM Co.,Ltd. WILLTEC MYANMAR Co.,Ltd. 株式会社サザンプラン 株式会社パートナー			



# 売上高推移と沿革

## ものづくりを支援する事業領域で基盤を確立



# 事業領域



海外

2015  
2016



海外人材コンサルティング・教育

## 事業内容

製造請負・製造派遣、機電系技術者派遣、修理サービスを展開

## 特徴

現在、益々需要が高まる電子部品・デバイス、電気機械、情報通信産業においてサービスを展開。蓄積したノウハウで事業領域を拡大し、ワンストップサービスを提供



### 製造請負・製造派遣事業

- 製造請負** メーカーに対して、当社の生産技術力、品質管理能力、労務管理能力をもって製造・加工・検査等を行い、成果物を納品
- 製造派遣** メーカーを中心に、当社の従業員を派遣し、製造・加工・検査等を実施



### 機電系技術者派遣事業

産業機械・装置メーカー、民生機器メーカー等に対して、設計関連に習熟した技術を持つ人材を派遣し、機械、電気・電子、ソフトウェア等に関する開発、設計を実施。未経験者への基礎研修や経験者への応用研修を行う研修センターを東京と大阪に設置



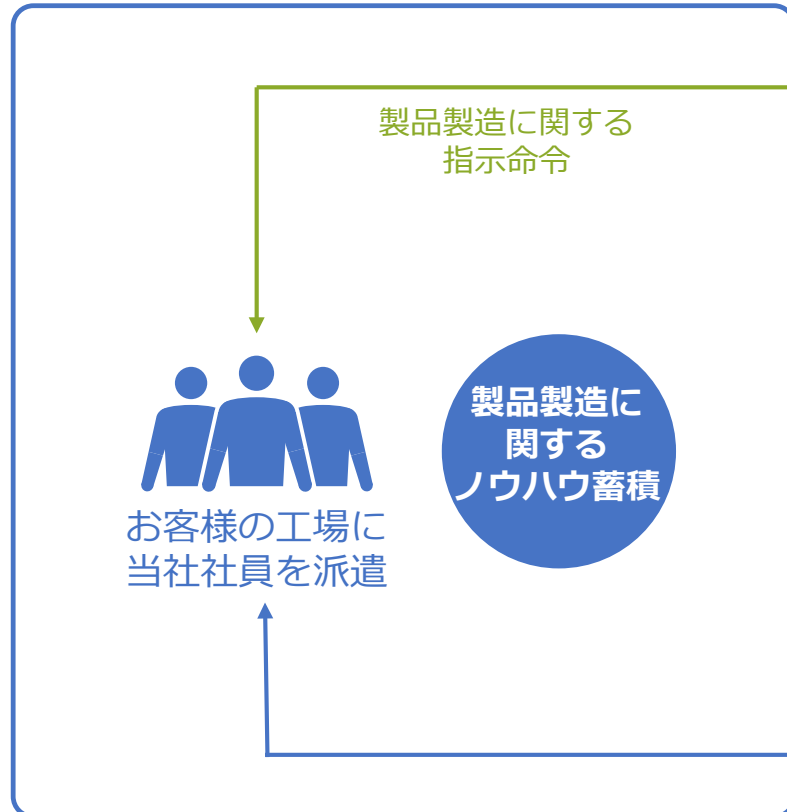
### 修理サービス事業

法人を顧客として、主に電源設備や電気機器の訪問修理や付帯するコールセンターの受託運営等を実施

## ■ 当社製造派遣・製造請負の流れ

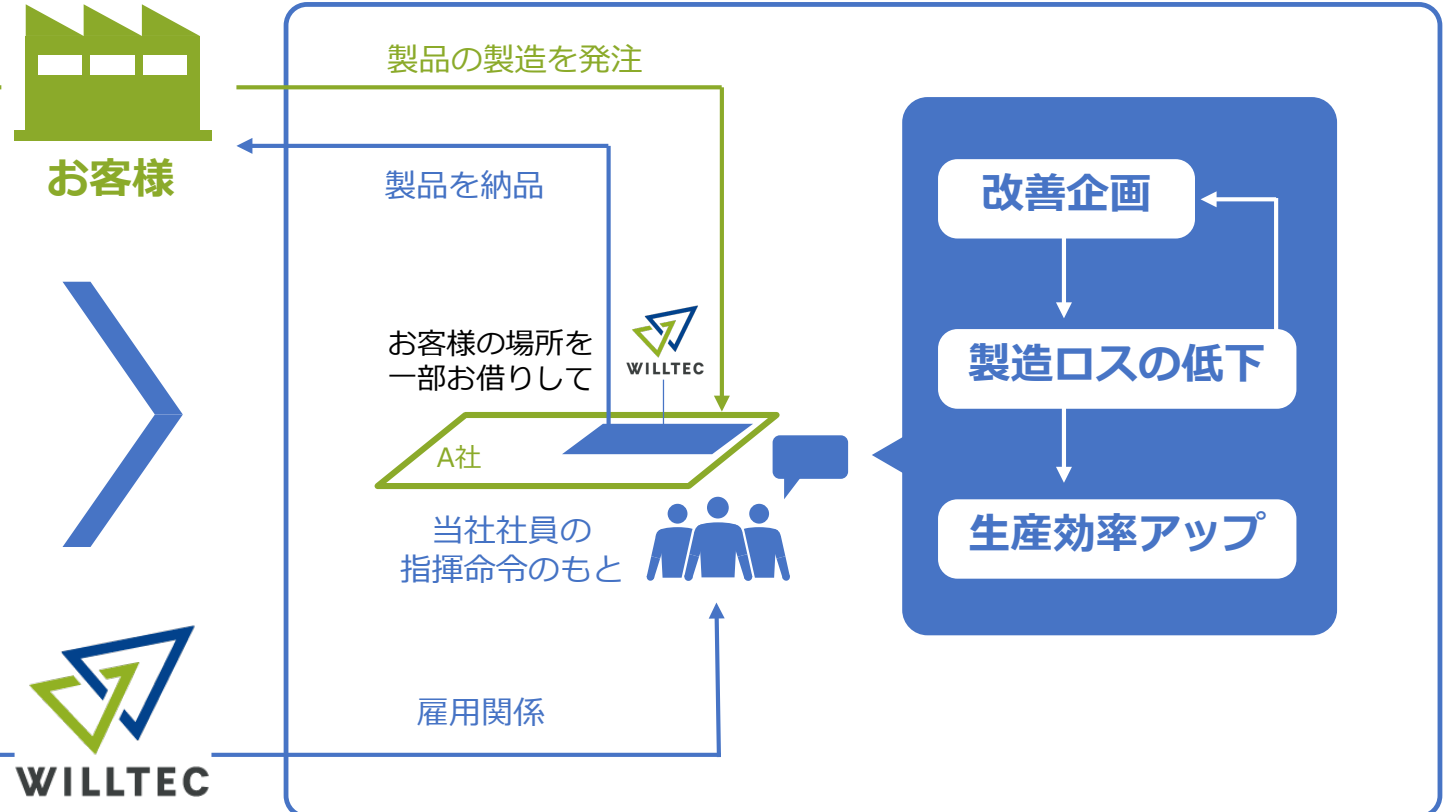
### STEP1

**製造派遣** 売上 = 人数 × 時間単価



### STEP2

**製造請負** 売上 = 納品数 × 製品単価



## 事業内容

建設系の技術者派遣事業、教育研修事業を展開

## 特徴

業界NO.1の研修充実度を誇り、取引先からの評価を得て、建設・建築設備を中心に事業を拡大

### 人材サービス事業

建設プロジェクトを自分たちの仕事として捉え、「建築」「建築設備」「土木」「プラント」のフィールドを支える優秀な技術者を派遣し、業務遂行をサポートいたします。また、雇用リスクを低減できる紹介予定派遣、人材紹介も行っています。



### 教育研修事業

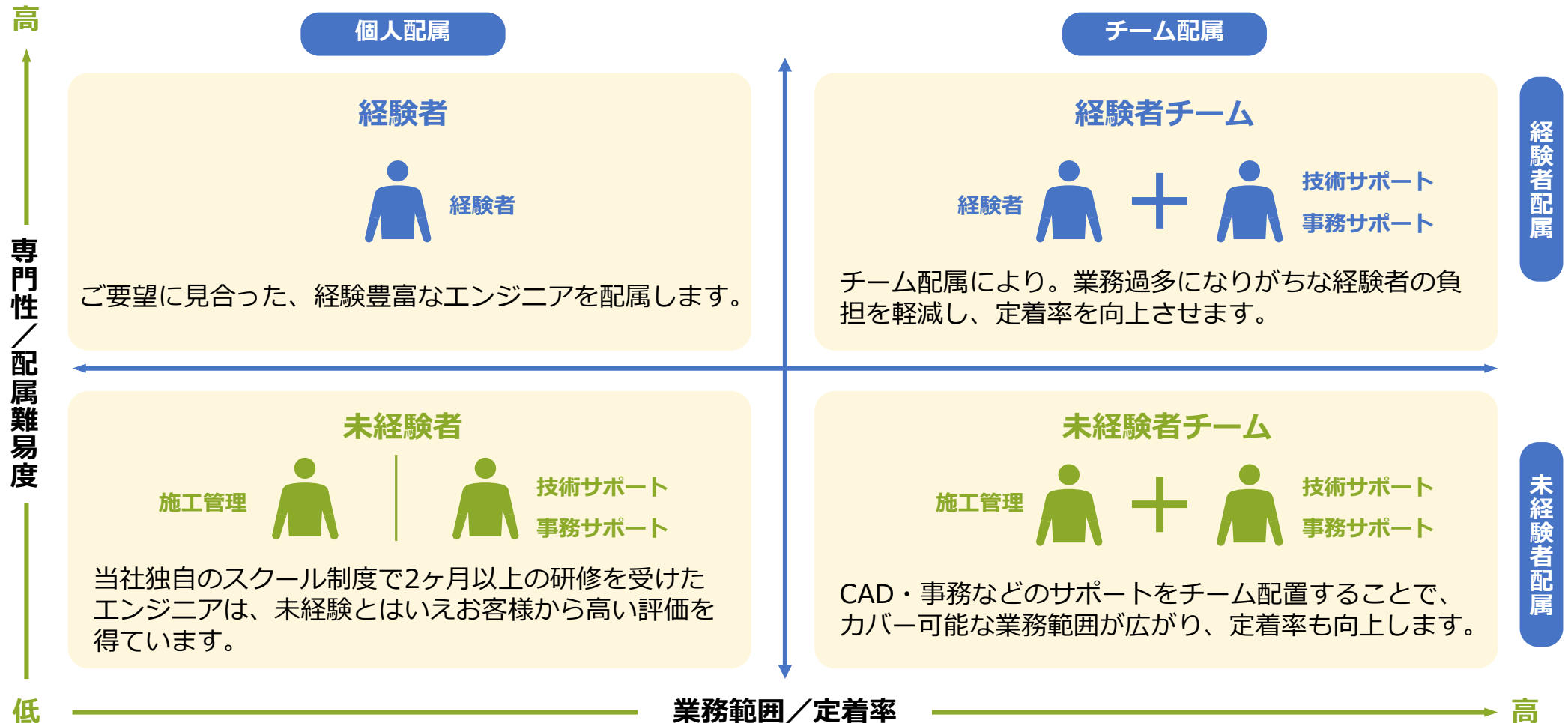
ゼネコン、設備系サブコンをはじめとする、建設系企業の若手技術者向けの技術研修やCAD研修などの受託を行っています。

### 建設事業

建築における電気設備工事の設計、施工及び請負の事業を行っています。電気設備技術者のOJTによる育成も積極的に取り組んでいます。

- 経験者配属をはじめ、定着率が高いチーム配属など、お客様ニーズを満たすさまざまな配属提案を行っています。

## 配属提案のイメージ



## 事業内容

IT系技術者派遣事業・受託事業を展開

## 特徴

システムインテグレーションの分野において、高い技能と経験を持つシステムエンジニア集団として多様なニーズに対応

## サービス

IT業界で活躍する人材を育成、提供する企業として事業を展開

### オープン系システム関連

JAVA、C++などによる業務系システムの構築、運用、などで、金融、メーカー、サービスなどの幅広い業界向けのオープン系システムでの人材ニーズにお応えしています。

### ERP関連

SAP、McfameなどのERPの構築、保守、運用に特化した人材を提供することで付加価値の高い業務を行っています。

### 教育研修

## 専門性・ニーズの高い、高付加価値人材の育成

刻々と変化するITニーズにこたえるため、自社開発の研修プログラム、外部研修等の実施により、エンジニアの価値向上とキャリアの醸成を行っています。

## 強み



### 顧客基盤

金融・証券・医療・通信・サービス業など数多くの上場企業様と長期にわたる取引実績



### 幅広い対応

業界業種、プラットフォームや言語を問わず、ITシステム的设计から開発、運用保守まで一貫サポート

- 経験者を中心としたチーム編成などで、知識と経験をくみあわせて、適時にお客様のニーズにお応えしています。

## 提案のイメージ

高  
↑  
専門性／配属難易度  
↓  
低

### 個人配属

#### コンサルタント・SE



業務内容に沿って、エンジニアを配属します。

#### 協力会社・個人事業主



外部エンジニアを、派遣する場合は、当社からの遠隔での指揮命令とサポートを受けられる環境を用意しています。

### チーム配属

#### リーダー



#### 経験の浅いSE/PG

#### 協力会社・個人事業主



多様な人材の提供により、経験者をリーダーとして、安心してお任せいただけるサービスを機動的に提供しています。



# 事業セグメント EMS事業



## 事業内容

制御盤、電源機器、産業機器の受託製造、電子部品卸売を展開

## 特徴

電子部品卸売事業における自社調達ネットワークと、設計から製造までを担う最効率な品質と生産体制を提案するEMS事業

### 受託製造事業

必要機能に特化し、コストも重視した効率の良いユニットの開発・製造受託

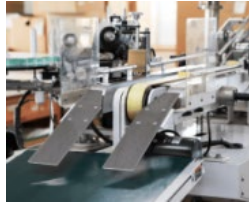
制御盤



基板



通信



電源装置



### 電子部品卸売事業

システム機器



リレー



コネクタ



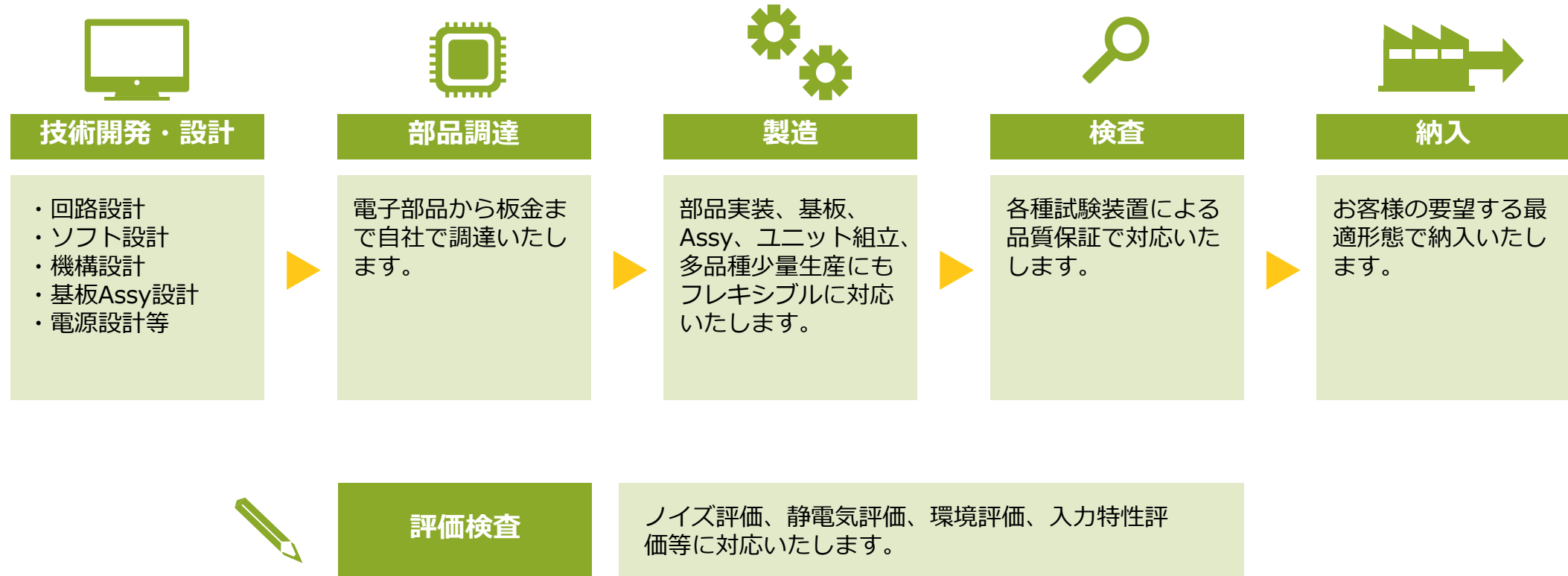
サーボモータ



### 拠点一覧



- お客様専用仕様による設計開発から納入まで一気通貫のものづくりで、ニーズにお応えします





---

**本資料に関するお問い合わせ先**

情報統括部 広報・IR課 IR担当

[ir@willtec.jp](mailto:ir@willtec.jp)